

## 会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1-42	令和3年度「第2回墨田区がん対策推進会議」		
開催日時	令和4年3月29日(火) 午後1時半から午後2時半まで			
開催場所	墨田区役所9階91会議室			
出席者数 (18人)	<p>【外部関係者】 渡邊清高、五嶋孝博、都野晋一、鴨川大助、武井和彦、森信之、桜井なおみ、佐藤文子、高木恒子、風間利昭(敬称略) (計10人)</p> <p>【部内関係者】 保健衛生担当次長、保健予防課長、向島・本所保健センター所長、保健計画課長(計4人)</p> <p>【事務局】 保健計画課健康推進担当主査2人・保健計画課健康推進担当主事2人(計4人)</p>			
	公開(傍聴できる)	部分公開(部分傍聴できる)	傍聴者数	0人
	非公開(傍聴できない)			
議題	<p>1 開会</p> <p>2 保健衛生担当次長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 各専門部会の報告について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 令和3年度のその他の取組の報告について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 令和4年度のがん対策推進会議と専門部会について</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) その他</p> <p>3 閉会</p>			
配布資料	<p>【机上配布資料】</p> <p>1 令和3年度「墨田区がん対策推進会議」委員名簿</p> <p>2-1 令和3年度「がん検診精度管理部会」の報告</p> <p>2-2 令和3年度「たばこ対策部会」の報告</p> <p>3 令和3年度 がん対策事業の実施状況</p> <p>4 令和4年度「墨田区がん対策推進会議」の概要(案)</p> <p>5-1 令和4年度「がん検診精度管理部会」の概要(案)</p> <p>5-2 令和4年度「たばこ対策部会」の概要(案)</p> <p>6 ご意見・ご質問シート</p>			

<p>会 議 概 要</p>	<p>1 開会</p> <p>2 保健衛生担当次長挨拶 (省略)</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 各専門部会の報告について</p> <p>資料2-1に基づき、事務局より「がん検診精度管理部会」について報告。</p> <p><b>【意見・質問等】</b></p> <p>渡邊会長： 都野先生、がん検診の担当理事として、今年度の検討内容について何かご意見はあるか。</p> <p>都野委員： 精度管理の取組みとして、精検未把握率が高かった医療機関に報告書の提出を求めている。精検依頼票兼報告書の活用が改善策として検討されている。</p> <p>渡邊会長： 国や都もチェックリストを整備しているため、それに沿って現状把握や改善に向けたプロセス指標について網羅的に把握するようになってきている。直ぐにすべてを知るのは難しいが、今後コロナの状況が改善したら、またこの辺りも進んでくるのではないか。</p> <p>資料2-2に基づき、事務局より「たばこ対策部会」について報告。</p> <p><b>【意見・質問等】</b></p> <p>桜井委員： 数字で見えていくことは重要。コロナ禍の家庭内喫煙の増加を懸念している。禁煙医療費補助事業の達成率が45.3%とのことだが、他区と比べてどの位高いか分析はできているか。</p> <p>事務局： 他区との比較データは手持ちにない。禁煙に関しては10%くらいの達成率と言われており、高い数値と考えている。この事業は、禁煙をする前に登録し、その後達成した場合に申請をする2段階申請になっている。中には達成をしている方でも助成金の申請手続きをしていない方もいるかもしれない。申請漏れがないようにリマインドの案内を行い、達成率の向上を図っていく。</p> <p>渡邊会長： こうしたデータの取り方も結構まちまち。申告ベースだとパーセントが高くなることからみても、墨田区の事業の達成率は高いと思う。啓発だけでなく、その後のフォローもどれだけできているかも重要だと思う。</p> <p>渡邊会長： 今年はコロナ禍で受動喫煙対策に影響があったと思うが、武井委員、何かご意見はあるか。</p> <p>武井委員： たばこ対策部会の中で「自分の健康と家族の健康を守るための知ってほしいたばこのこと」というリーフレットの紹介があった。区民の方にも分かりやすい内容であるため、歯科医師会で活用の検討を進めたい。</p> <p>渡邊会長： 鴨川先生、何かご意見ご感想あるか。</p> <p>鴨川委員： 一歳半と三歳児健診でも禁煙啓発をしているということだが、健診時に母親に禁煙しているか喫煙しているかアンケートはとっているか。</p> <p>事務局： 確認して実施していないようであれば検討したい。</p>
----------------	--

鴨川委員： もしなければ、一歳半と三歳児健診に母親へのアンケートに、たばこに関する質問を加えていただければ、子どもだけの健診だけでなく、母親にも啓発できる。

(2) 令和3年度のその他の取組の報告について

資料3 個別目標1「科学的根拠に基づくがん予防の充実」について  
事務局より報告。

【意見・質問等】

渡邊会長： 禁煙サポート薬局において禁煙の支援を行っていただいているが、禁煙治療薬の一部が使用中止になる中、禁煙希望者の支援が難しくなっていると思われるが、薬剤師会での禁煙対策について、森委員にご意見を伺いたい。

森委員： 薬剤師会においては、チャンピックスの流通がない中、飴やガム等を上手く活用して、今年度は禁煙サポート薬局において28件の禁煙相談等を行った。禁煙サポート薬局は、原則1年ごとの更新制になっているため、4月以降の薬局は現在集計をしている。今後はインターネットで禁煙マラソンの活用や、チラシを活用して禁煙に対する区民へのサポートを行いたい。コロナ禍で活動が制約される中、今期はオンラインにて検診会やお薬の相談等を実施した。まだ先が見えないが、できる方法で、薬剤師会として、区民に対するがんの啓蒙活動を実施したい。

資料3 個別目標2「がんを早期発見するためのがん検診の充実」について  
事務局より報告。

【意見・質問等】

渡邊会長： がん検診について、受診率向上に向けた様々なご説明をいただいた。高木委員にお聞きしたい。住民の視点から、受診者を増やすための取組みに何か率直なご意見はあるか。

高木委員： 私は区のがん検診ではなく、他区のかかりつけの医療機関で検診を受診している。私のような方の結果データは区として把握できているのか。

渡邊会長： 職域検診や地域で受けられる検診のデータをやり取りする仕組みについては議論されているが、全体としてカバーできるところはこれからだと思う。

事務局： 今ご報告させていただいたのが、区のがん検診として受けていただいた方の受診者や受診率を報告させていただいている。かかりつけ医で受けられている検診や職場で受けている検診等に関しては、こちらの数値に入っていない。現状はそちらの数値まですべて把握できていない。今後情報収集し国も含めて検討はしていく必要はある。区のがん対策としても、今後、職域、職場のがん対策としてどれだけがん検診を進めていただいているか、現状把握から進めたい。

渡邊会長： 佐藤委員はいかがか。

佐藤委員： 最近は身体に負担が少ない血液検査でがんが見つかるといったものもある。こうした検査は受診できるのか。

渡邊会長： 採血によるがん検診は、死亡率減少効果について証明されていないため、集団組織型検診、自治体が主体として行う検診としては勧められていない。過剰診断や不必要な精密検査が増えてしまうデメリットが大きい。この辺りの普及啓発、情報提供も必要がある。

高木委員： そういった方法もあると聞いたときに相談にいける場所が欲しい。

渡邊会長： かかりつけの先生やコールセンター等で検診について相談できると良い。

資料3 個別目標3「がんに関する正しい知識の普及啓発・健康教育の充実」、個別目標4「がん患者が尊厳を保ちつつ安心して暮らすことのできる地域社会の実現」について事務局より報告。

#### 【意見・質問等】

渡邊会長： ポストコロナを見据えたがん対策をいくつかご紹介いただいたが、貴院のがん相談支援センターで具体的にどういった連携が考えられそうか、五嶋委員に伺いたい。

五嶋委員： 私どもの病院では、患者さんにごんの情報を提供するために、冊子やパンフレットを置いた部屋を用意し、患者さんが自由に持ち帰ることができる体制を整えているが、コロナ禍で制限している。その辺りはコロナが収まればもっと皆さんに知っていただくことができる。

また、例年、患者さん向けの色々ながんの説明会あるいは講演会を実施しているが、今回から YouTube で動画を投稿している。病院のホームページから、世界中の人に周知できるため、今後、こうした活動に力を入れていく。

#### (3) 令和4年度のがん対策推進会議と専門部会について

資料4・5-1・5-2に基づき、事務局より説明

渡邊会長： 来年度のがん対策推進会議と専門部会については、資料のとおりご承認いただければと思う。これで準備いただいた資料は以上になる。全体として何かご意見ご質問等あるか。

桜井委員： コロナ禍で在宅緩和ケアや在宅医療の重要性が物凄く高くなったと思う。私の周りもこれまでであれば入院していた方でも、家族と会えなくなるため在宅を選択された方は相当いた。今までは在宅緩和ケアのがん相談会で色々な取り組みをしていたと思うが、今年度で終了になるのか。

事務局： 在宅緩和ケアについては、がんサロン SAKURA という事業名であるが、委託先を変更している。まずはオンラインでの個別相談会とし、来年度以降にグループ等での支援ができないか検討していきたい。

桜井委員： 在宅緩和ケアの事業において、上手くオンラインとリアルを組み合わせると、今まで到達できなかった年代層にアクセスすることができる。今後墨田区でもハイブリッドの形式やインターネット等でも比較的在宅医療の話の検索できると思うので、ターゲットを含めて考えられ

	<p>るといいと思う。</p> <p>渡邊会長： 交流会や勉強会、オンラインを組み合わせるなど色々な方法が参考になると思う。</p> <p>今年度も新型コロナウイルスの感染拡大で、様々な取り組みが影響を受けている状況で、次の波が懸念されるが、このような中で委員の皆さま方それぞれの立場で率直なご意見いただき、充実した議論ができた。次年度に向け、皆さま方のご意見を踏まえ、さらに議論を深め、反映できる部分は反映していただきたい。</p> <p>以上で、本日の議事は全て終了となる、</p> <p>6 閉会</p> <hr/> <p>会議の概要は以上である。</p>
所 管 課	福祉保健部 保健衛生担当 保健計画課 健康推進担当 (内線 3534)